

各 位

会 社 名 朝 日 イ ン テ ッ ク 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 田 昌 彦
 (東 証 第 二 部 ・ 名 証 第 二 部 ・ JASDAQ コード番号 : 7747)
 問 合 せ 先 専 務 取 締 役 竹 内 謙 次
 (TEL. 052-768-1211)

業績予想(連結)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2009年8月11日の「平成21年6月期 決算短信」にて公表致しました2010年6月期(2009年7月1日～2010年6月30日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想について、下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1.第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正(2009年7月1日～2009年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益(円)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,215	1,054	1,016	626	39.50
今 回 修 正 予 想 (B)	7,408	1,646	1,567	1,013	63.95
増 減 額 (B-A)	+192	+591	+550	+387	+24.45
増 減 率 (%)	+2.7	+56.1	+54.2	+61.9	-
(ご参考) 前 期 実 績 (2009年 6 月 期 中 間)	6,111	811	389	△286	△18.05

(金額の単位:百万円)

2.通期の業績予想数値の修正(2009年7月1日～2010年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益(円)
前 回 発 表 予 想 (A)	14,789	2,229	2,158	1,416	89.35
今 回 修 正 予 想 (B)	14,981	2,821	2,709	1,804	113.80
増 減 額 (B-A)	+192	+591	+550	+387	+24.45
増 減 率 (%)	+1.3	+26.5	+25.5	+27.4	-
(ご参考) 前 期 実 績 (2009年 6 月 期 通 期)	12,718	1,782	1,438	445	28.13

(金額の単位:百万円)

3.修正の理由

<第2四半期連結累計期間の業績予想について>

売上高については、円高ドル安の進行による影響を受けたものの、メディカル・ブランド事業において、主力製品PTCAガイドワイヤーの中国向け売上高が予想以上に好調に推移したほか、デバイス事業においても、産業機器分野が予想より好調に推移したため、前回予想を上回る見込みであります。

営業利益については、売上高増加による影響のほか、生産性の向上、さらには固定費及び販売費及び一般管理費のコストダウン努力等により、売上原価及び販売費及び一般管理費が予想以上に減少したことを受け、前回予想を大きく上回る見込みであります。

経常利益については、円高の進行により為替差損の発生が見込まれるものの、営業利益が好調に推移したことを受け、前回予想を上回る見込みであります。

また、特別損失として、投資有価証券評価損の計上や、前期損益修正の計上が見込まれますが、経常利益が好調に推移したことを受け、当四半期純利益につきましても、前回予想を上回る見込みであります。

これらを総合し、第2四半期連結累計期間につきましても、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益について上方修正を行っております。

<通期の業績予想について>

通期連結業績予想につきましても、上記のとおり第2四半期連結累計期間までの業績予想を上方修正することに伴い上方修正することいたしました。

第3四半期連結会計期間以降の売上高は、景気動向の影響を受けやすいデバイス事業における産業機器分野の取引動向が不透明であることや、海外向けの医療部材及びOEMについても取引先の影響を受けるなど、当初予想の売上高を下回る可能性がある分野がある一方、主力事業のメディカル・ブランド事業の売上高は第2四半期連結累計期間同様に大変好調に推移し、当初予想の売上高を上回る可能性があるため、全体としては当初予想された計画通りに好調に推移する予定であります。また、利益に関しましては、第2四半期連結累計期間同様、固定費及び販売費及び一般管理費についてコストダウン努力等により予想より若干減少する見込みであるものの、来期以降に新規に取引が発生する大型案件の生産をASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.にて開始することや、ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.の新規工場への生産移設により生産性が鈍化するほか、たな卸資産を中心に資産内容の再評価を実行し収益体質の強化を図るなど在庫圧縮に努めることを積極的に推し進めることなどを予定しており、第2四半期連結累計期間に比べて売上総利益率は低下する見込みであります。このような要因に加え、為替や株式市場の外部環境の動向が依然不透明であることなどを複合的に勘案し、下期業績予想は据え置きとさせていただきます。

第3四半期連結会計期間以降の業績見通しにおける外国為替レートは、今後円安基調になることを予想しており、1米ドル＝95円、1タイバーツ＝3円の前提を据え置きとさせていただきます。なお、これに基づく通期における業績見通しにおける外国為替レートは、1米ドル＝93.23円、1タイバーツ＝2.86円の前提となります。

なお、配当予想につきましては、現在のところ変更はありませんが、長期にわたり安定的な配当を継続することを基本方針として、今期最終連結業績、今後の業績見通しなどを総合的に判断して決定する所存であります。

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

なお、当第2四半期連結累計期間の決算発表は2010年2月10日を予定しております。

以上